

# あなたが狙われる

## 廃案しかない秘密保護法案 この怖さ

しんぶん 赤旗

国会で審議中の秘密保護法案への不安や懸念が今、国民のあいだに急速に広がっています。それは、法案が国民の目、耳、口をふさぎ、憲法が保障する基本的人権をじゅうりんする「新しい治安維持法（日本共

産党の志位和夫委員長）であることが明らかになってきたからです。予先は国民全体に向けられています。与党は26日にも採決を狙いますが、法案はきっぱり廃案にする以外にありません。

だけで処罰できるしくみだからです。最大の問題は、そもそも国民には「何が秘密かもヒッ」ンズンナ。

### 知らぬ間に…逮捕



政府は、この法案を公務員から秘密が漏れることを防ぐためのものと説明します。しかし、処罰や捜査の

対象は、公務員とその周りの人に限定されています。

ん。政府も国会答弁で広く国民が処罰されることを認めています。秘密を知ろうと話し合ったり（共謀）、他人に勧めたり（教唆）、大勢の人に呼びかけたり（扇動）する可能性もあります。事故が心配で原簿のことを調べたり、米軍基地被害のことを住民同士で話し合ったりしただけで、ある日突然警察から同行を求められたり、逮捕されたりする

### 知らぬまま…裁判



「何が秘密かもヒッ」ということは、もし私たちが逮捕され、国と裁判を争うことになったときも、恐ろしい事態をもたらします。

その秘密を知ろうとすれば、弁護士や裁判官まで逮捕されてしまいます。有罪の認定も、罪の核心が明らかにされないままの暗黒裁判です。

速捕状にも捜索令状にも、犯した罪が書かれませ

捕されてしまいます。有罪の認定も、罪の核心が明らかにされないままの暗黒裁判です。



「秘密保護法」を廃案に追い込むため、がんばろうと唱和する11・21大集会の参加者と日本共産党国会議員団。国会へのデモは夜10時半ごろまで続きました。21日、衆院議員面会会所前

### 知らぬ間に…監視



秘密を扱う公務員や武器関連メーカーの社員には、秘密を漏らすおそれがないか、「危険人物」との接触

がないか、国が「監視」することになります。調査対象は本人の個人情報だけでありません。家族や親族も調べられます。テロ活動などへの関与があ

るかどうか対象です。しかし、市民と「テロリスト」の区別が、外見でつくわけではありません。2010年に流出した公安警察の捜査資料から判明したのは、当局がイスラム教徒「危険人物」扱いされる危険があるのです。扱いは、思想・信条に踏み込んだ監視活動の実態です。

### 知らぬ間に…戦争



政府は、米国との秘密情報を共有するためにこの法案が必要だといいま

が、2003年、日本はイラクに大量破壊兵器の情報をもちに、開戦を

支持し、自衛隊を派兵しました。かつて日本の侵略戦争も「大本営」発表で突き進んでいきました。根拠の情報が秘密にされれば、国民はおろか国会で

## 報道に深刻な脅威と懸念 国連人権担当者が声明と発表

11/24付「しんぶん赤旗」では、スイスのジュネーブにある国連人権委員会の特別報告者フランソワ・ラルー氏が表記のように声明と発表するとともに、日本政府にさらなる情報提供を求めているなど、国際的な批判の高まりと報道



憲法を守る  
まもりまもりまもり  
日本共産党北区議会議員  
さがらとしこ  
区政レポート

2013.11.25 No.1181

ご相談はお気軽に  
TEL とも 3905-0970  
FAX さがらとしこ事務所  
赤羽北3-23-17  
(バス停「赤羽北3丁目」、メガシティ近く)

日本共産党議員団  
区役所内 3908-7144  
<http://www.kitanet.ne.jp/kyoukita/>

# なぜ、記載しなかった

山本 赤旗  
2013. 11. 25 (土)

## 徳洲会マネーもらった猪瀬都知事

東京都の猪瀬直樹知事は、医療法人「徳洲会」グループからの5000万円の資金提供について、「個人の借金だ」として、選挙費用としての借り入れではないことを強調しています。しかし、猪瀬氏の関係政治団体の政治資金収支報告書や選挙運動収支報告書を調べてみると、

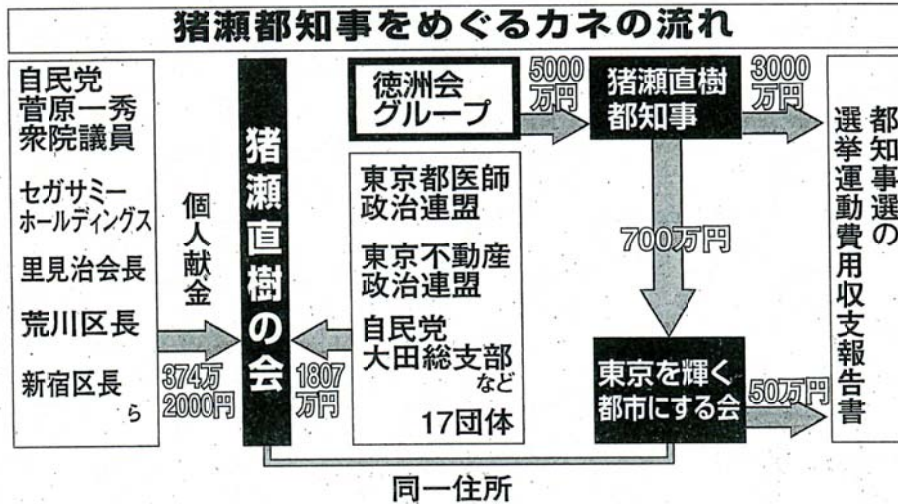
猪瀬氏が、石原慎太郎都知事（当時、現「日本維新の会」共同代表）から後継指名されたのは、昨年10月25日のことでした。約2週間後の11月6日に猪瀬氏は、石原前知事の有力後援者だった徳洲会グループの徳田虎雄前理事長に、都知事選（12月16日投票）に立候補する意向を伝え、後日、虎雄氏の次男、徳田毅衆院議員（自民党を離脱）から議員会館で5000万円を受け取っています。

資金面でも継承  
猪瀬氏の資金管理団体



徳洲会から5000万円を受領したことを認めた猪瀬直樹都知事（中央）は22日午後1時15分すぎ、都庁

## 収支報告を調べてみると...



が、正式に立候補を表明した11月21日から同会は活動を開始。自民党・菅原一秀衆院議員、パチスロメーカー大手の持ち株会社「セガサミーホール

ディングス」の里見治会長らの個人から計約374万円、東京都医師政治連盟などの政治団体から1807万円の献金を受け取っています。ここで特徴的なのは、政治団体の献金総額の約95%、1723万円が、石原前知事の資金管理団体「石原慎太郎の会」に11年に献金した10団体からのもので、資金面でも支持基盤を継承したことがわかります。徳洲会への資金要請もこの流れだったことが浮かび上がります。同報告書は、選挙後、東京都選管に提出しなければならぬもので、借入金も記載する必要がありますが、徳洲会関連の記載はありません。両報告書に記載がないということは、政治資金規正法や公職選挙法に抵触する可能性があります。猪瀬氏の自己資金3000万円に徳洲会マネーは含まれていないのか。猪瀬氏には、納得のいく説明をする責任があります。

### 選挙直前なのに

しかし、同時期に受け取ったカネであるにもかかわらず、徳洲会関連の記載はありません。一方、「猪瀬直樹の会」と同一住所で会計責任者・事務担当者も同一人物が務める関連政治団体「東京を輝く都市にする会」の収支報告書によると、収入の全額700万円が猪瀬氏からの「借入金」と、ちゃんと記載されています。

猪瀬都知事は都民にきちんと真相を明らかにすべきです。

道義的責任を問われます。



86都市計画道路補助86号線都が説明会おらせ

12月9日(月)午後7時~8時半  
赤羽台西小・体育館2F

\*12月6日(金)は、才3岩淵小の体育館です。

赤羽自然観察公園・スポーツの森公園を分断する86号線計画